



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算資料

フルサト・マルカホールディングス

2025年8月8日

「その手があったか」を、次々と。

UNISOL



1 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算の概要



● 2025年度 第2四半期（中間期）実績

	今期実績	前期実績比	業績予想比（25.2.14開示）
・売上高	797億円	(+ 9 億円、+ 1.2%)	(▲ 3 億円、▲ 0.2%)
・営業利益	15億円	(▲ 1 億円、▲ 11.7%)	(▲ 2 億円、▲ 16.3%)
・経常利益	18億円	(▲ 3 億円、▲ 14.1%)	(▲ 2 億円、▲ 11.6%)

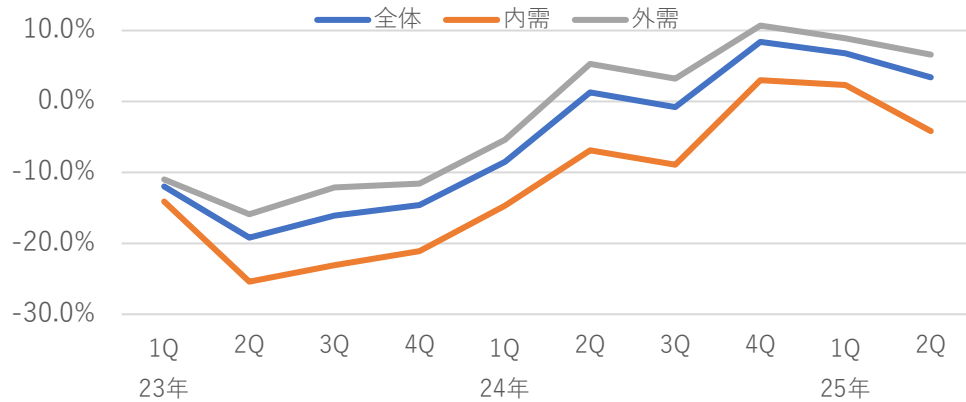
● 2025年度 通期業績予想：前回発表予想から以下の通り修正

	今回修正予想	前回発表予想（25.2.14開示）
・売上高	1,620億円	1,700億円（▲ 8 0 億円、▲ 4.7%）
・営業利益	35億円	45億円（▲ 1 0 億円、▲ 22.2%）
・経常利益	41億円	51億円（▲ 1 0 億円、▲ 24.2%）

* 利益還元方針を期首株主資本のDOE3.5%としており、配当予想は一株当たり101円から不変

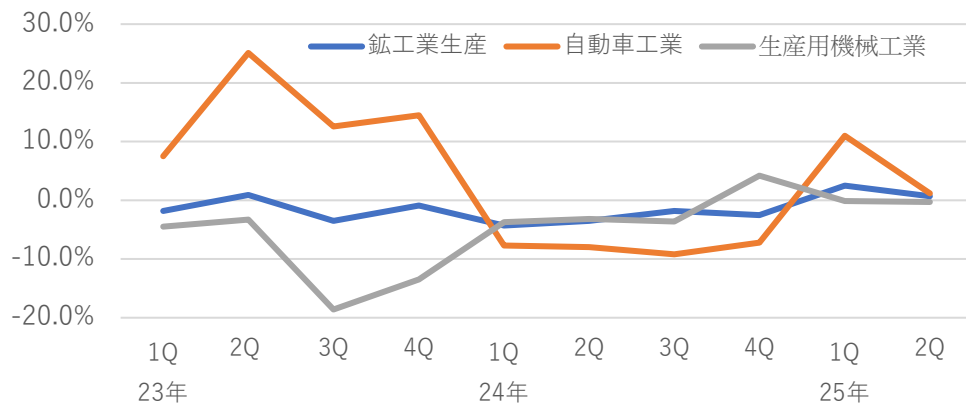
工作機械受注額（前年同期比増減）

- 〔内需〕 2 四半期プラスの後直近4-6月期は▲4.2%
- 〔外需〕 24年4-6月期よりプラスが続き直近4-6月期は+6.6%



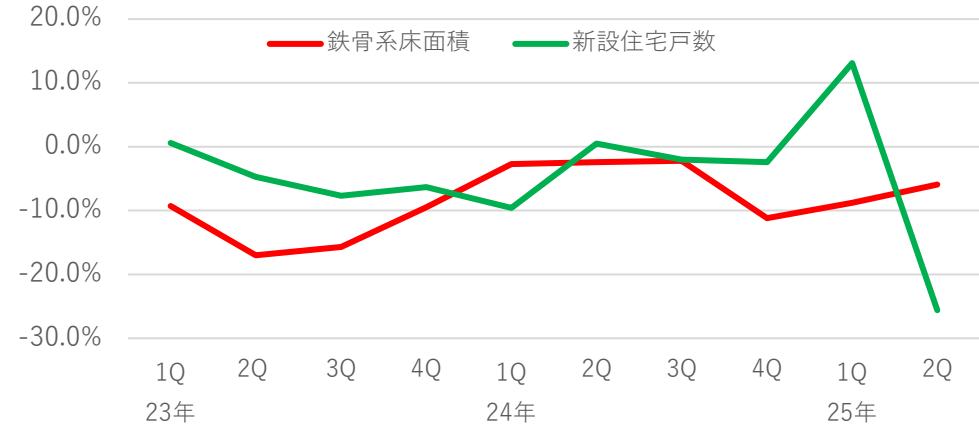
鋳工業生産指数（季節調整済）（前年同期比増減）

- 〔自動車工業〕 2 四半期連続プラス
- 〔生産用機械工業〕 2 四半期連続微減



建築着工統計（前年同期比増減）

- 〔鉄骨系床面積〕 2022年10-12月期以降11四半期連続マイナス
- 〔新設住宅戸数〕 2025年1-3月プラスの反動で直近4-6月期は▲25.6%



米国による関税措置の影響について

輸出影響 （日本から米国）

輸出額：約40億円（過去3年平均）

- ・輸出の多くは、米国子会社向けの在庫品

米国子会社業容

現地法人売上高：約164億円（過去3年平均）

- ・関税措置による駆け込み需要が発生
- ・今後は、先行きの不透明感により設備投資が控えられ、新規プロジェクトに遅れがみられる可能性あり



決算実績 サマリー

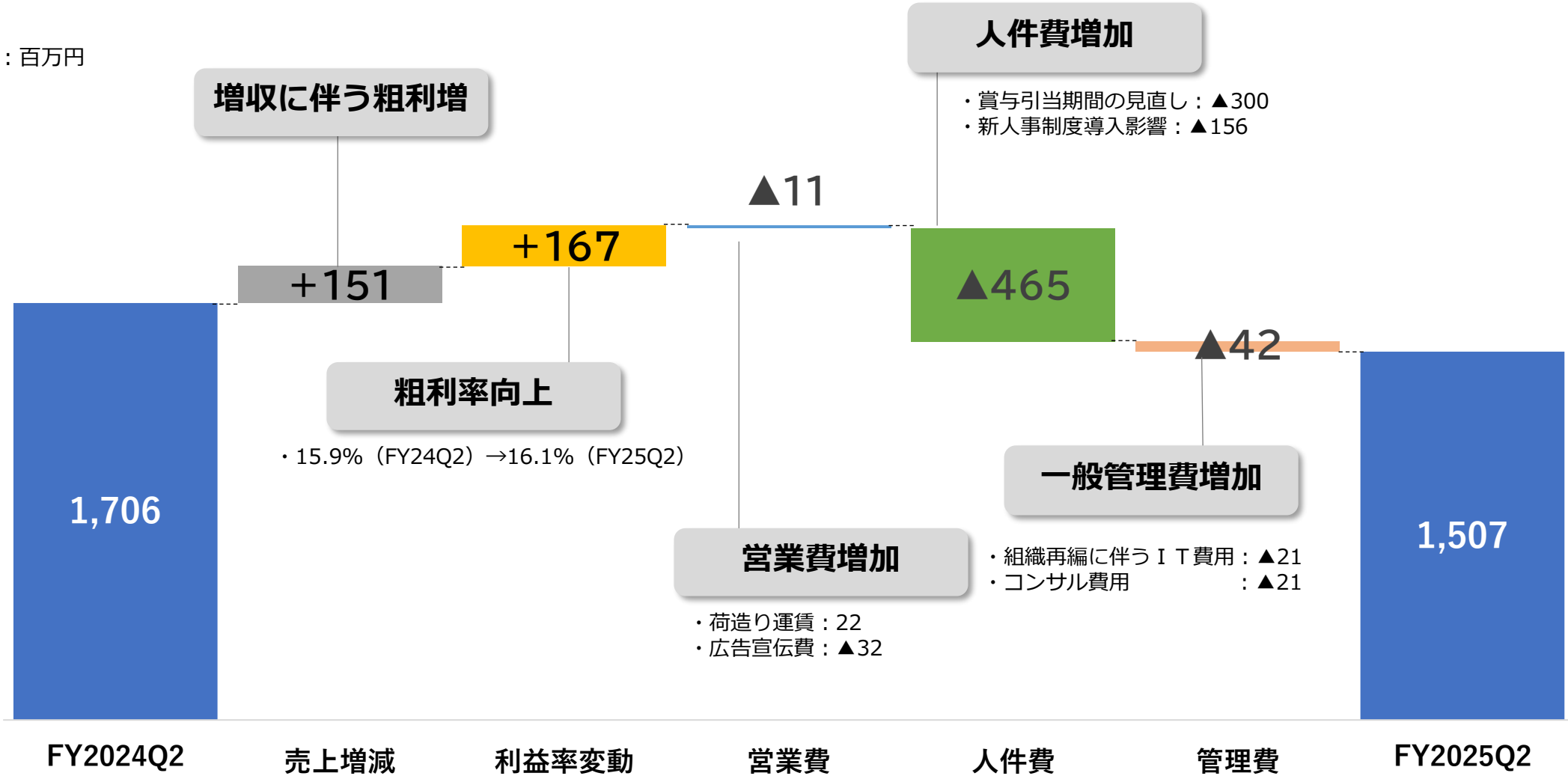
単位：百万円

	FY2024Q2	FY2025Q2	増減額	増減率	
売上高	78,845	79,779	933	1.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高：主に機械・工具、建設機械の影響により増加 (機械・工具：+1.4%) (建設機械：+20.4%)
売上総利益	12,539	12,858	319	2.5%	
販管費	10,832	11,351	518	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益：売上総利益は増加(+2.5%)したものの、 販管費増加(+4.8%)により減少
営業利益	1,706	1,507	▲199	▲11.7%	
経常利益	2,160	1,856	▲303	▲14.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・経常利益：受取配当金(▲39百万円) 為替差損益(▲62百万円) 雑収入(▲40百万円)により減少
親会社株主に帰属す 四半期純利益	2,862	996	▲1,866	▲65.2%	



営業利益分析（要因別）

単位：百万円





連結貸借対照表

単位：百万円

	FY2024Q4	FY2025Q2	増減
資産合計	120,821	118,354	▲2,467
現金及び預金	27,533	30,677	3,144
受取手形、売掛金及び契約資産	28,608	24,019	▲4,588
有形固定資産	25,375	25,180	▲195
投資有価証券	3,116	3,182	65
負債合計	47,448	45,472	▲1,975
支払手形及び買掛金	17,669	15,244	▲2,425
電子記録債務	17,122	16,823	▲299
契約負債	5,084	6,142	1,057
短期借入金	466	522	56
純資産合計	73,373	72,881	▲491
自己資本	72,339	71,774	▲565
非支配株主持分	1,034	1,107	73
自己資本比率	59.9%	60.6%	

・資産合計：流動資産▲2,545百万円、
固定資産+78百万円により
前期末比▲2,467百万円

・負債合計：流動負債▲2,027百万円、
固定負債+52百万円により
前期末比▲1,975百万円

・純資産：剰余金の配当▲1,871百万円、
親会社株主に帰属する四半期純利益+996百万円、
為替換算調整勘定+218百万円により
前期末比▲491百万円



ユニソルホールディングス(株)

2026年1月社名変更予定

UNISOLビジネスパートナーズ(株)

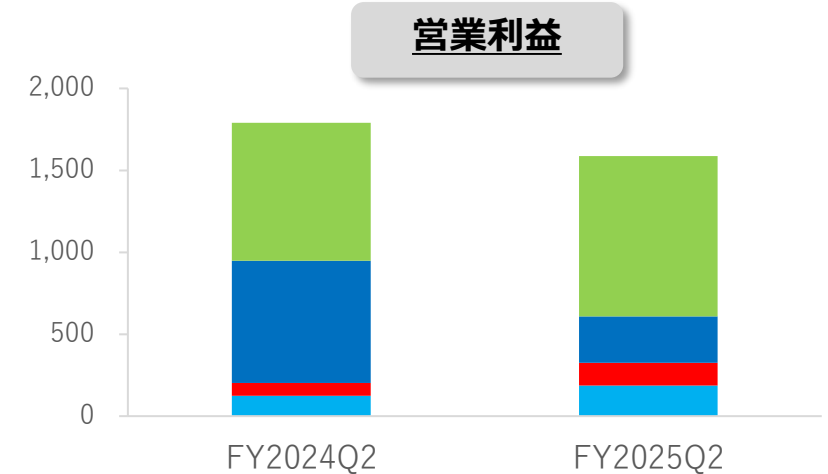
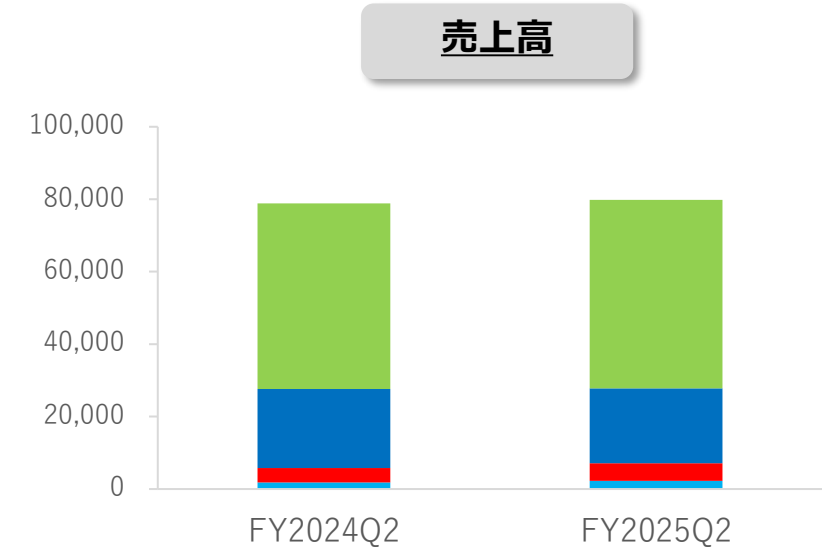
セグメント	機械・工具			建設資材	建設機械	IoTソリューション
責任会社	ユニソル(株)			フルサト工業(株)	新会社	(株)セキュリティデザイン
事業分類	機械	工具	エンジニアリング	鉄構資材 配管資材 住宅設備	建設機械 保険	物理セキュリティ 工場自動化
国内	・管製作所 ・アルプラス ・TSプレシジョン	・北九金物工具 ・岐阜商事	・ソノルカエンジニアリング		・ジャパンレンタル	
海外	・北米現地法人 ・中国現地法人 ・東南アジア現地法人		・ITI (米国) ・USI (インドネシア)			
備考	(株)マルカ、(株)ジーネット経営統合により 2026年1月ユニソル(株)設立予定			2025年7月 (株)ジーネット住設システム部門を移管	(株)マルカより分社化 (2026年1月目途)	



連結決算実績 セグメント別

単位：百万円

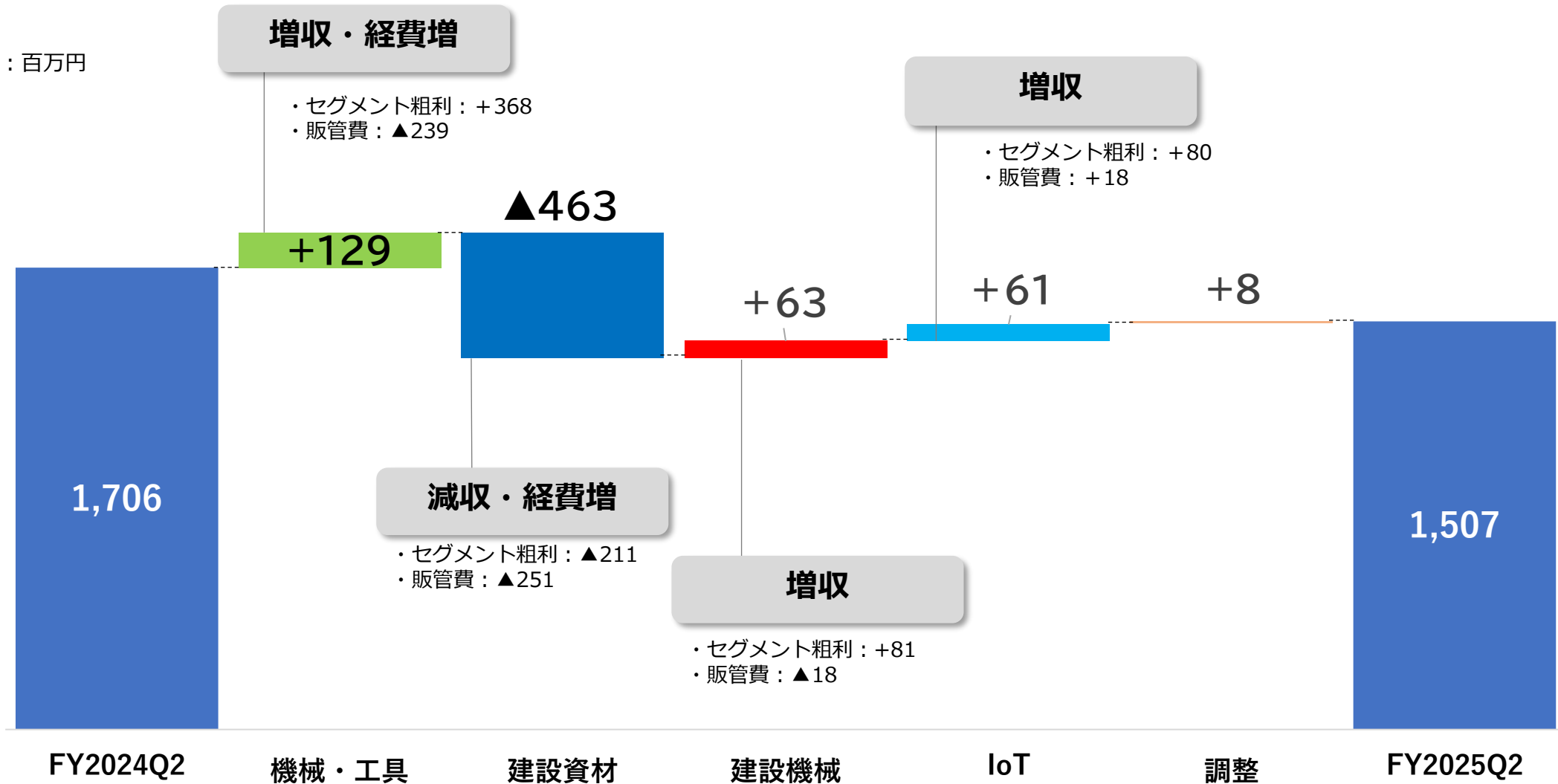
	FY2024Q2	FY2025Q2	増減率
売上高	78,845	79,779	1.2%
■ 機械・工具セグメント	51,226	51,963	1.4%
■ 建設資材セグメント	21,780	20,730	▲4.8%
■ 建設機械セグメント	4,036	4,859	20.4%
■ IoTソリューションセグメント	1,802	2,226	23.5%
営業利益	1,706	1,507	▲11.7%
■ 機械・工具セグメント	843	972	15.4%
■ 建設資材セグメント	745	282	▲62.1%
■ 建設機械セグメント	77	140	81.7%
■ IoTソリューションセグメント	124	186	49.9%
■ 調整	▲83	▲75	—





営業利益分析（セグメント別）

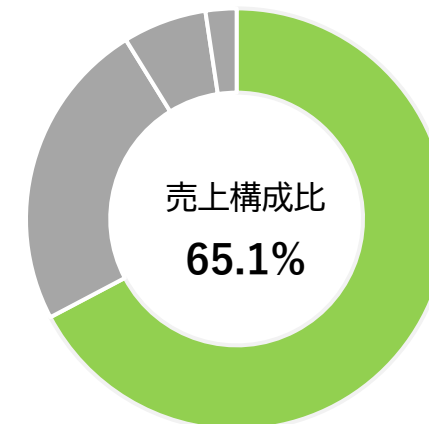
単位：百万円





● 主な増減要因

- 国内機械：▲5.3%
 直需では自動車、非自動車共に設備投資は厳しい中、機械工具メーカー等一部大口案件により微増
 卸売では中堅・中小企業において先行き不透明感による新規設備投資低調より減少
- 国内工具：+0.8%
 直需では主要自動車メーカーの生産は順調に推移したが、新規設備投資等は厳しい状況により微減
 卸売では自動車や半導体業界が不振の中、季節性商品拡販、展示会での課題解決提案等により微増

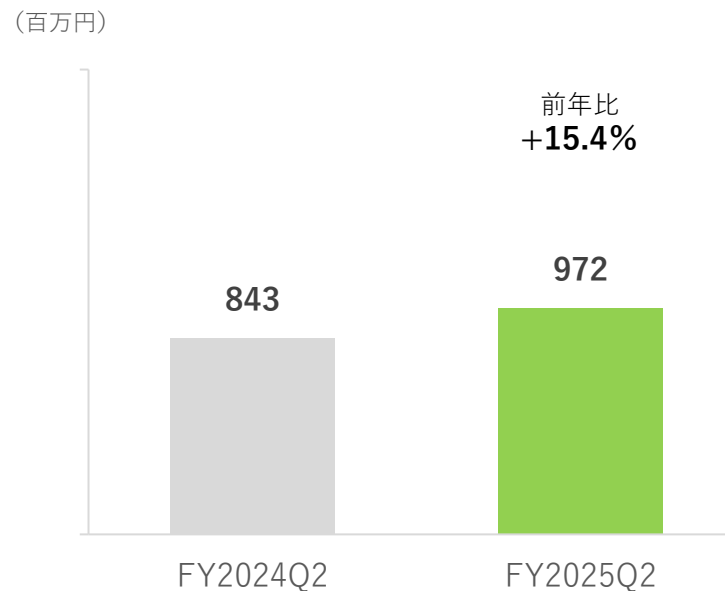
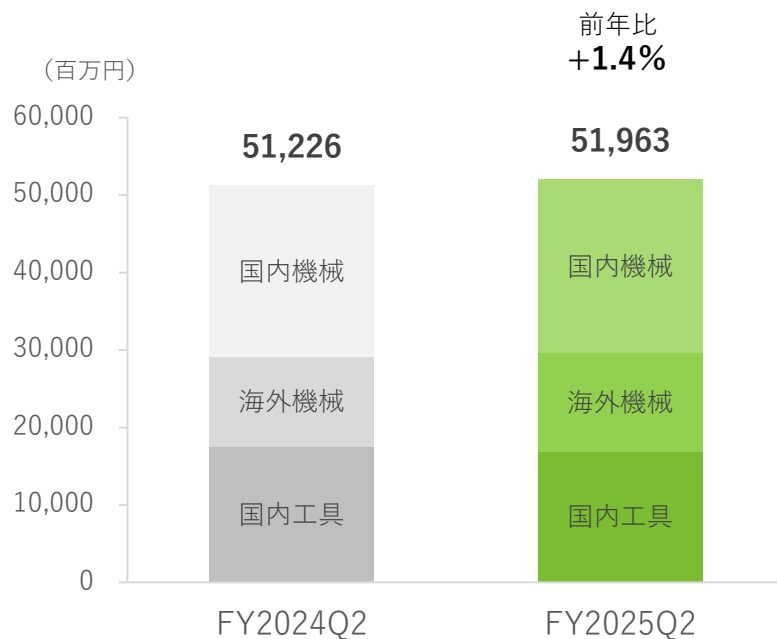


● 主な事業内容

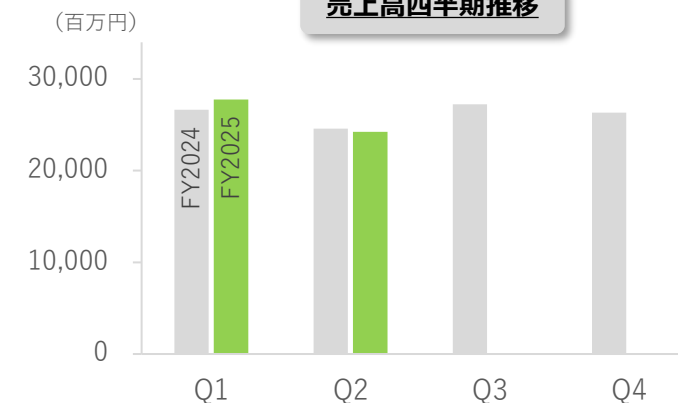
国内、海外のモノづくり産業に最適な機械・工具を提供、設計も可能な技術力・提案力がある機械技術商社

売上高

営業利益



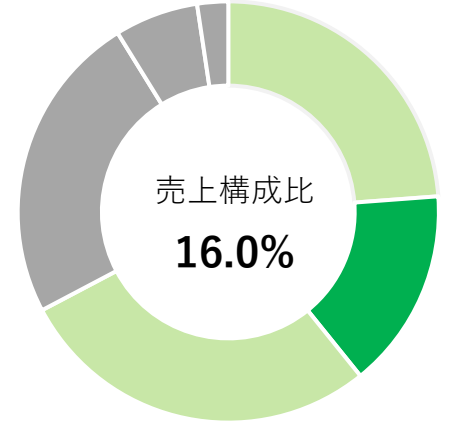
売上高四半期推移



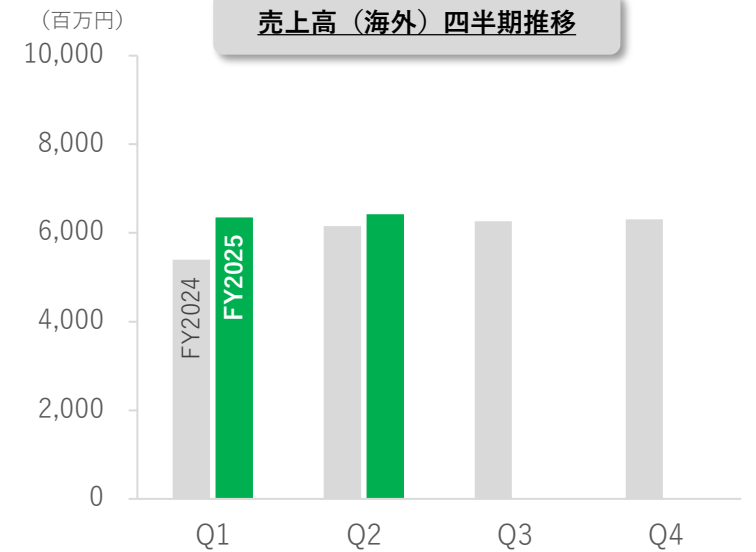
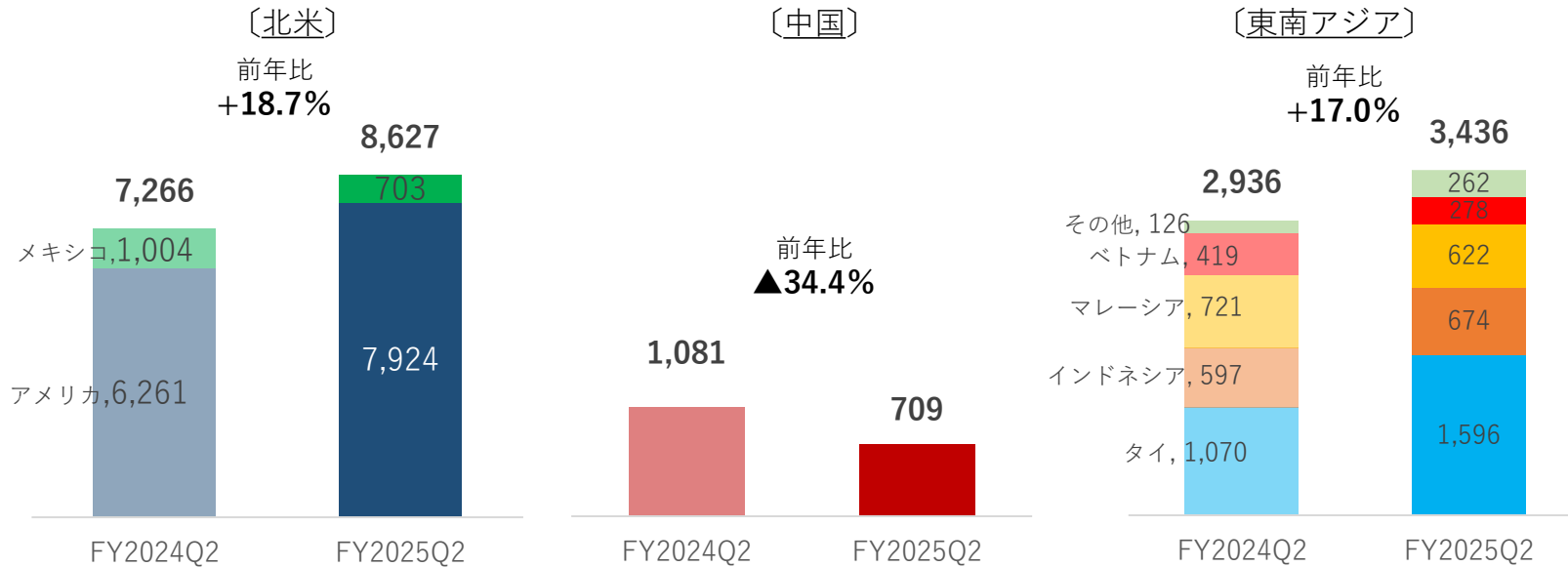


● 主な増減要因

- 北米：+18.7%
射出成形機等の関税引上げ前の駆け込み需要、一部の日系自動車メーカーの設備案件、好調な受注が続くエンジニアリングなどにより増加
- 中国：▲34.4%
日系顧客向け部品販売等があったものの、日系自動車メーカー不振の影響が大きく大幅減
- 東南アジア：+17.0%
各国において日系自動車メーカーの設備投資が厳しい中、タイにおける既存設備の更新案件、インドネシアにおける食品業界向け大口案件等により増加

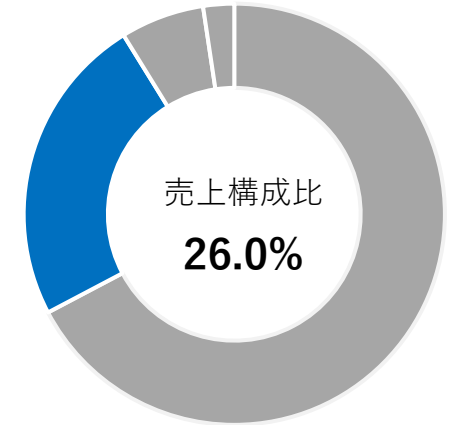


売上高(海外) 12,774百万円（前年比+13.1%） 売上高海外比率 **16.0%**（前年比+1.7P）



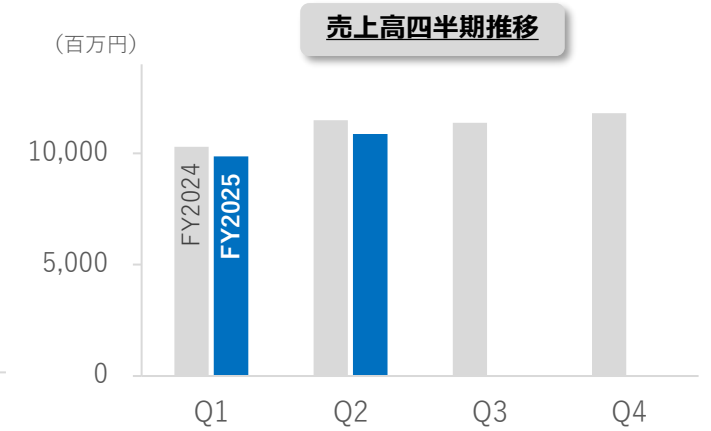
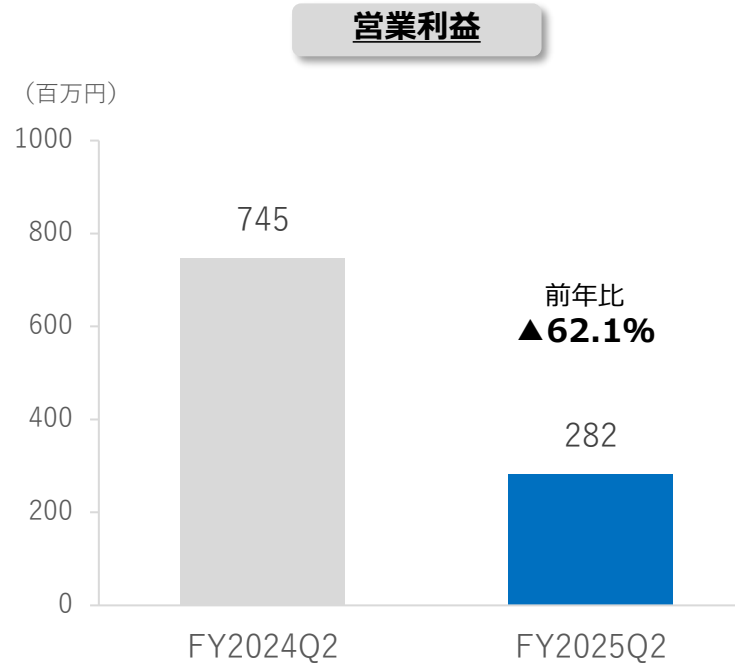
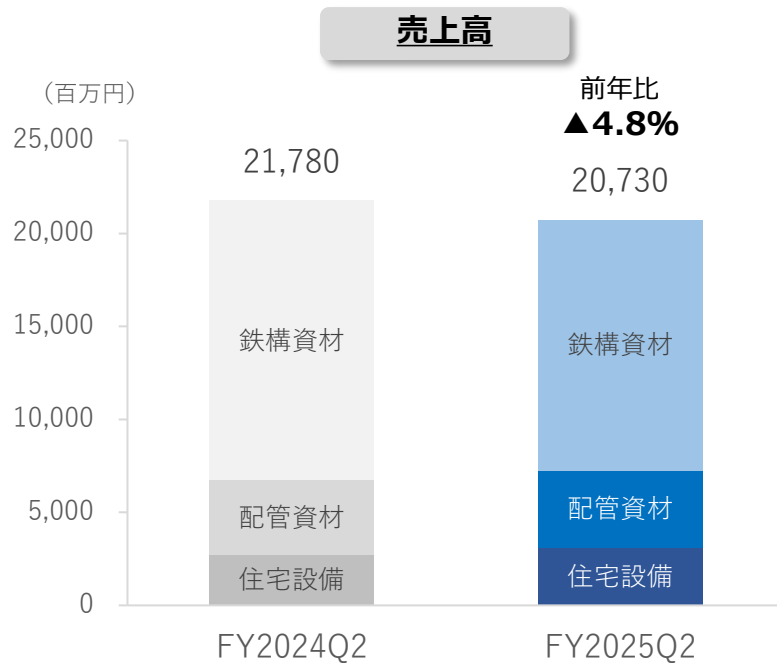
● 主な増減要因

- 鉄構資材：▲10.5%
資材価格の高騰、人手不足、4週8閉所等の影響が続く需要が低迷する中、大型設備機械販売、新規商材の取扱い等に注力したものの減少
- 配管資材：+4.5%
半導体・電子部品関連向けが小規模ながら堅調に推移、大型の産業機械の販売にも注力
- 住宅設備：+13.0%
新設住宅着工戸数が前年比で減少し、リフォーム需要も動きが鈍い中、主力メーカーの高付加価値商品の販売や、施工付き案件への注力により増加



● 主な事業内容

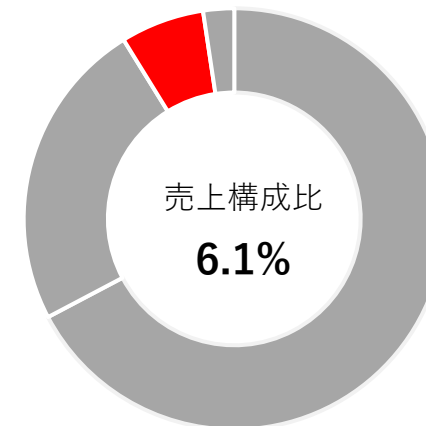
国内の建設業界に鉄構資材や配管資材、住宅設備機器をJust In Timeで提供製造機能を持つ建設資材商社





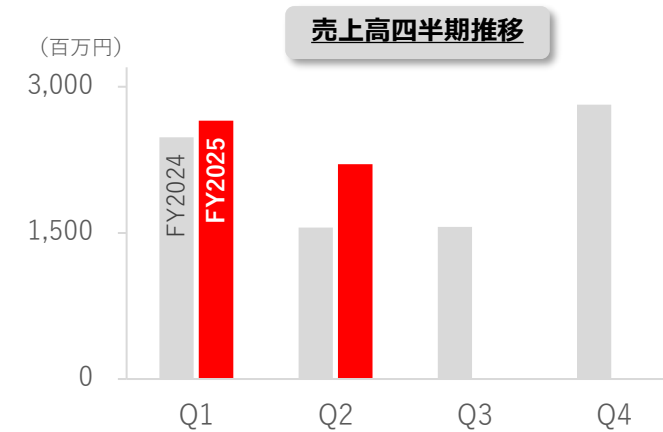
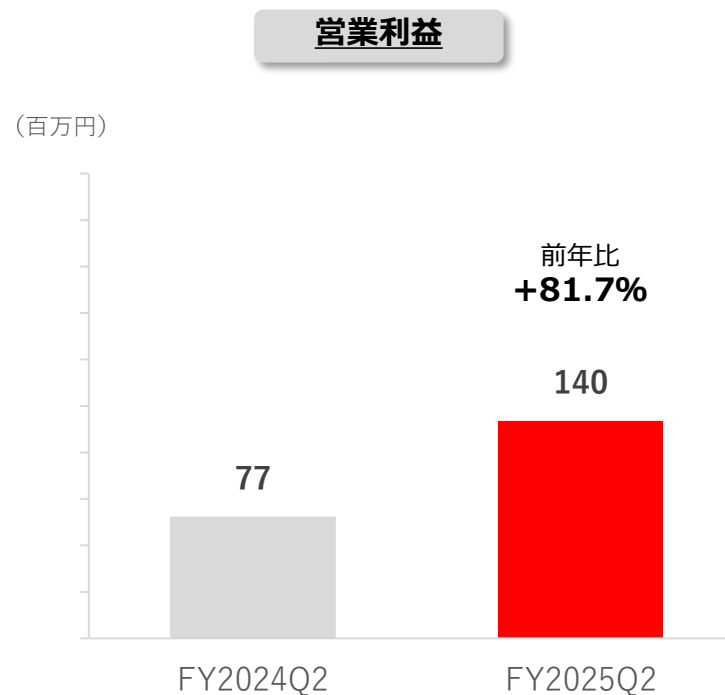
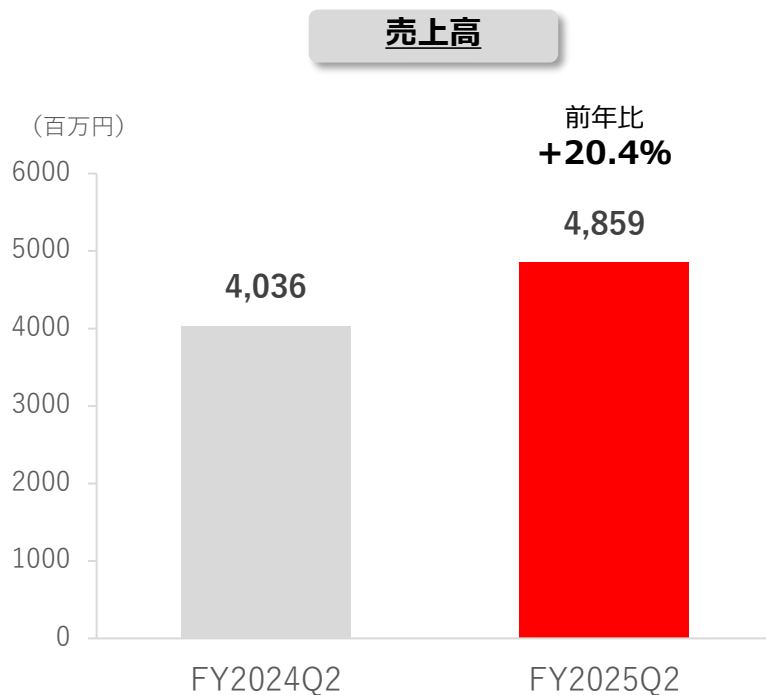
● 主な増減要因

- クローラークレーン：主要仕入先の出荷停止終了による反発需要等により増加
また輸送費の上昇、資材価格の高騰、人件費増による製品価格増も増収に寄与
- 基礎建機：基礎工事業者への杭打機等のレンタル需要が増加



● 主な事業内容

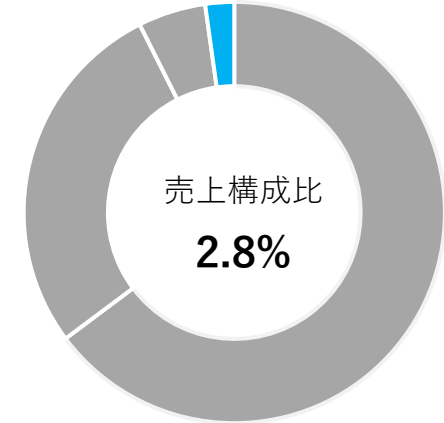
国内の土木業者などに荷役機械や建設機械等を販売、保険も扱う高所作業車は操縦者付きでレンタル





● 主な増減要因

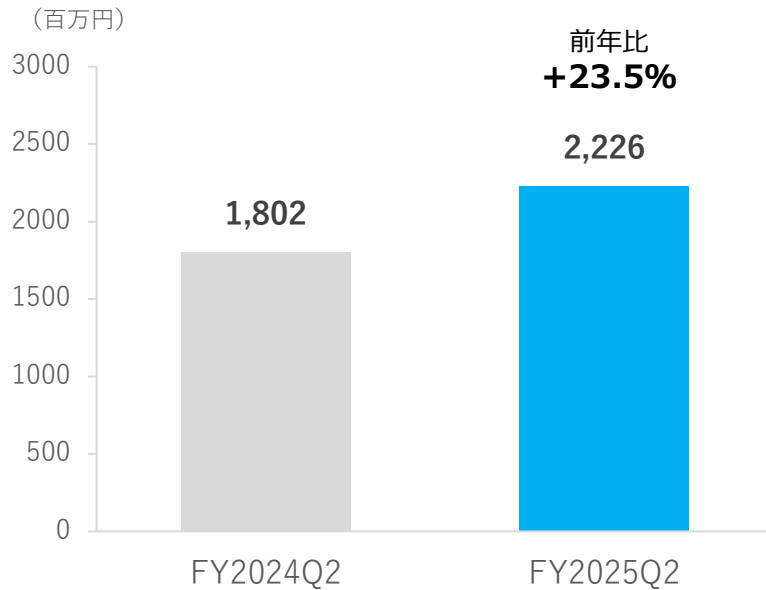
- 物理セキュリティ市場では、データセンターや配送センター向けの需要が好調に推移
- 機器販売分野：大手警備会社を通じた個人宅向けを含む監視カメラ需要が堅調
- システム構築分野：データセンター向けを含む複数の下期に予定した大型案件の早期化で大幅増収



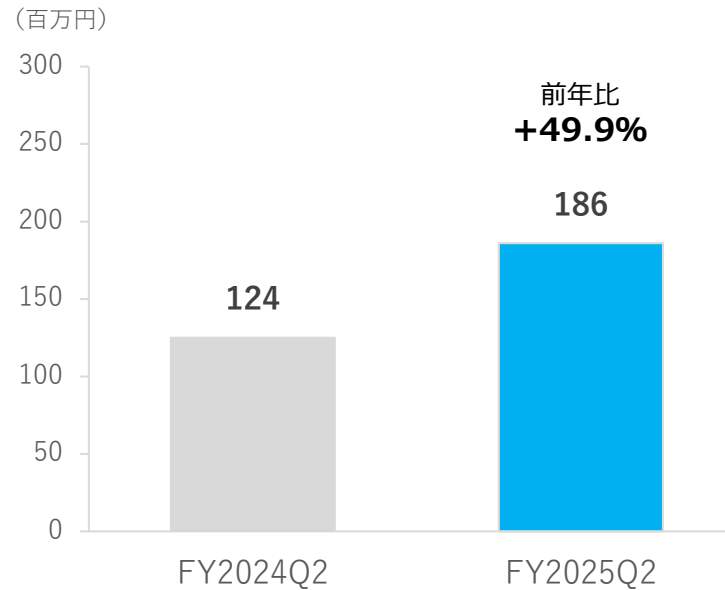
● 主な事業内容

オフィス・工場・倉庫などのニーズに合わせたトータルソリューションを提供し、様々なリスクの抑制・防止・軽減を実現

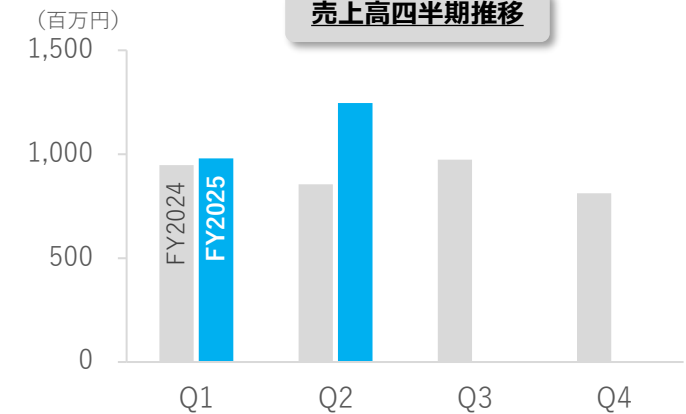
売上高



営業利益



売上高四半期推移





2

2025年12月期 通期業績予想



2025年度 通期業績予想を下方修正

機械工具及び建設資材セグメントを取り巻く事業環境が当初予想を下回っており通期予想の修正を実施

- 機械工具セグメント：米国関税影響により設備投資案件が様子見状態。今期中に売上転化予定の受注案件が予想比低水準
- 建設資材セグメント：国内鉄骨需要量の軟調推移。建設需要の低迷により価格競争が激化

単位：百万円

	FY2025 (前回発表)			FY2025 (今回修正)			増減額	
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	下期	通期
売上高	80,000	90,000	170,000	79,779	82,220	162,000	▲7,779	▲8,000
売上総利益	12,800	14,200	27,000	12,858	12,991	25,850	▲1,208	▲1,150
売上総利益率	16.0%	15.8%	15.9%	16.1%	15.8%	16.0%	-	-
販管費	11,000	11,500	22,500	11,351	10,998	22,350	▲501	▲150
営業利益	1,800	2,700	4,500	1,507	1,992	3,500	▲707	▲1,000
経常利益	2,100	3,000	5,100	1,856	2,243	4,100	▲756	▲1,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,420	1,880	3,300	996	1,503	2,500	▲376	▲800



今回修正予想 セグメント別（前回発表予想比較）

単位：百万円

	FY2025（前回発表）			FY2025（今回修正）			増減額	
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	下期比	通期比
売上高	80,000	90,000	170,000	79,779	82,220	162,000	▲7,779	▲8,000
■ 機械・工具セグメント	52,500	59,350	111,850	51,963	54,186	106,150	▲5,163	▲5,700
■ 建設資材セグメント	22,000	23,760	45,760	20,730	22,409	43,140	▲1,350	▲2,620
■ 建設機械セグメント	3,650	4,750	8,400	4,859	4,040	8,900	▲709	500
■ IoTソリューションセグメント	1,850	2,140	3,990	2,226	1,583	3,810	▲556	▲180
営業利益	1,800	2,700	4,500	1,507	1,992	3,500	▲707	▲1,000
■ 機械・工具セグメント	990	1,560	2,550	972	1,207	2,180	▲352	▲370
■ 建設資材セグメント	700	1,020	1,720	282	697	980	▲322	▲740
■ 建設機械セグメント	60	120	180	140	99	240	▲20	60
■ IoTソリューションセグメント	100	50	150	186	13	200	▲36	50
■ 調整	▲50	▲50	▲100	▲75	▲24	▲100	25	0



業績予想（前年実績比較）

単位：百万円

	FY2024			FY2025			増減額	
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	下期	通期
売上高	78,845	82,871	161,716	79,779	82,220	162,000	▲650	283
売上総利益	12,539	13,127	25,666	12,858	12,991	25,850	▲135	183
売上総利益率	15.9%	15.8%	15.9%	16.1%	15.8%	16.0%	-	-
販管費	10,832	10,973	21,806	11,351	10,998	22,350	25	543
営業利益	1,706	2,153	3,860	1,507	1,992	3,500	▲160	▲360
経常利益	2,160	2,499	4,659	1,856	2,243	4,100	▲256	▲559
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,862	1,750	4,613	996	1,503	2,500	▲246	▲2,113



業績予想 セグメント別（前年実績比較）

単位：百万円

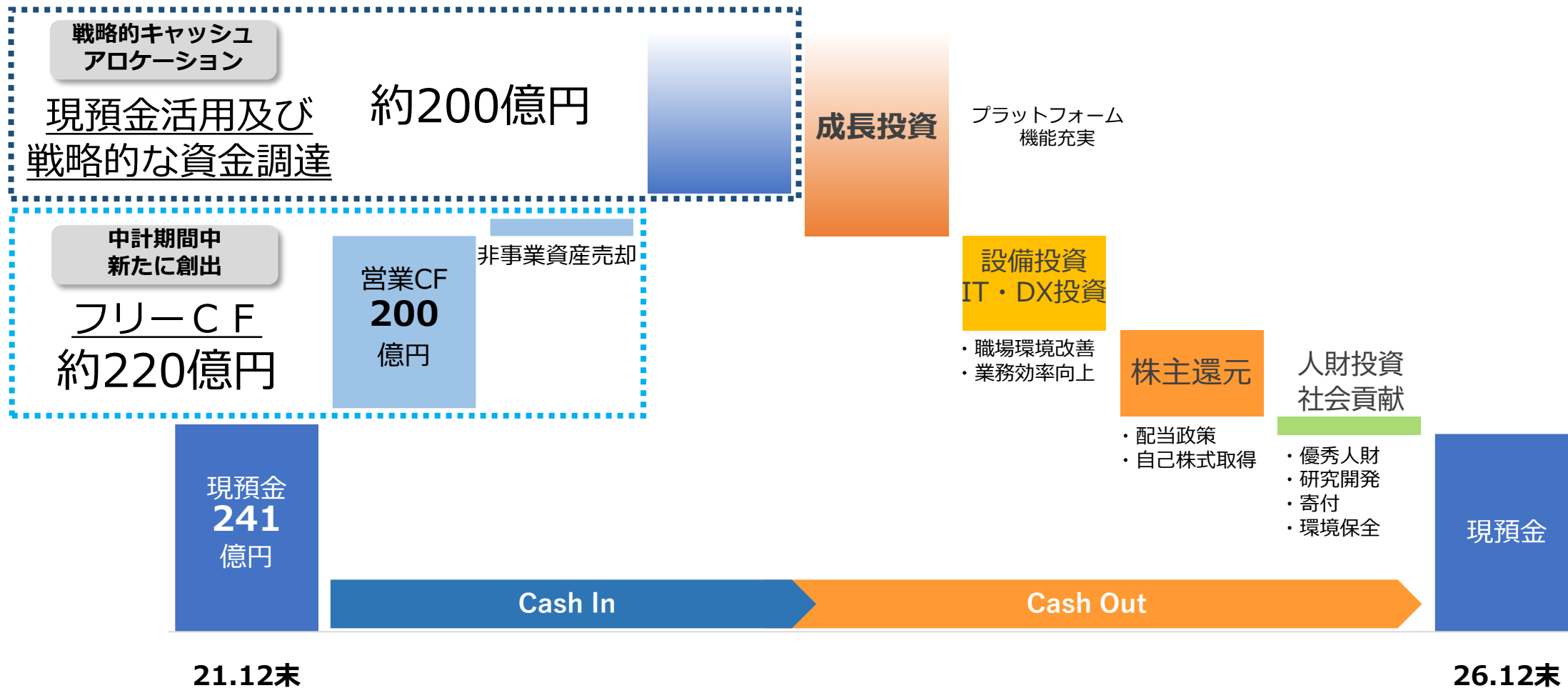
	FY2024			FY2025			増減額	
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	下期	通期
売上高	78,845	82,871	161,716	79,779	82,220	162,000	▲650	283
■ 機械・工具セグメント	51,226	53,541	104,767	51,963	54,186	106,150	645	1,382
■ 建設資材セグメント	21,780	23,166	44,947	20,730	22,409	43,140	▲757	▲1,807
■ 建設機械セグメント	4,036	4,377	8,413	4,859	4,040	8,900	▲336	486
■ IoTソリューションセグメント	1,802	1,785	3,588	2,226	1,583	3,810	▲202	221
営業利益	1,706	2,153	3,860	1,507	1,992	3,500	▲160	▲360
■ 機械・工具セグメント	843	1,156	1,999	972	1,207	2,180	51	180
■ 建設資材セグメント	745	831	1,576	282	697	980	▲133	▲596
■ 建設機械セグメント	77	122	200	140	99	240	▲23	39
■ IoTソリューションセグメント	124	64	188	186	13	200	▲50	11
■ 調整	▲83	▲21	▲104	▲75	▲24	▲100	▲3	4



3

財務資本戦略・利益還元方針

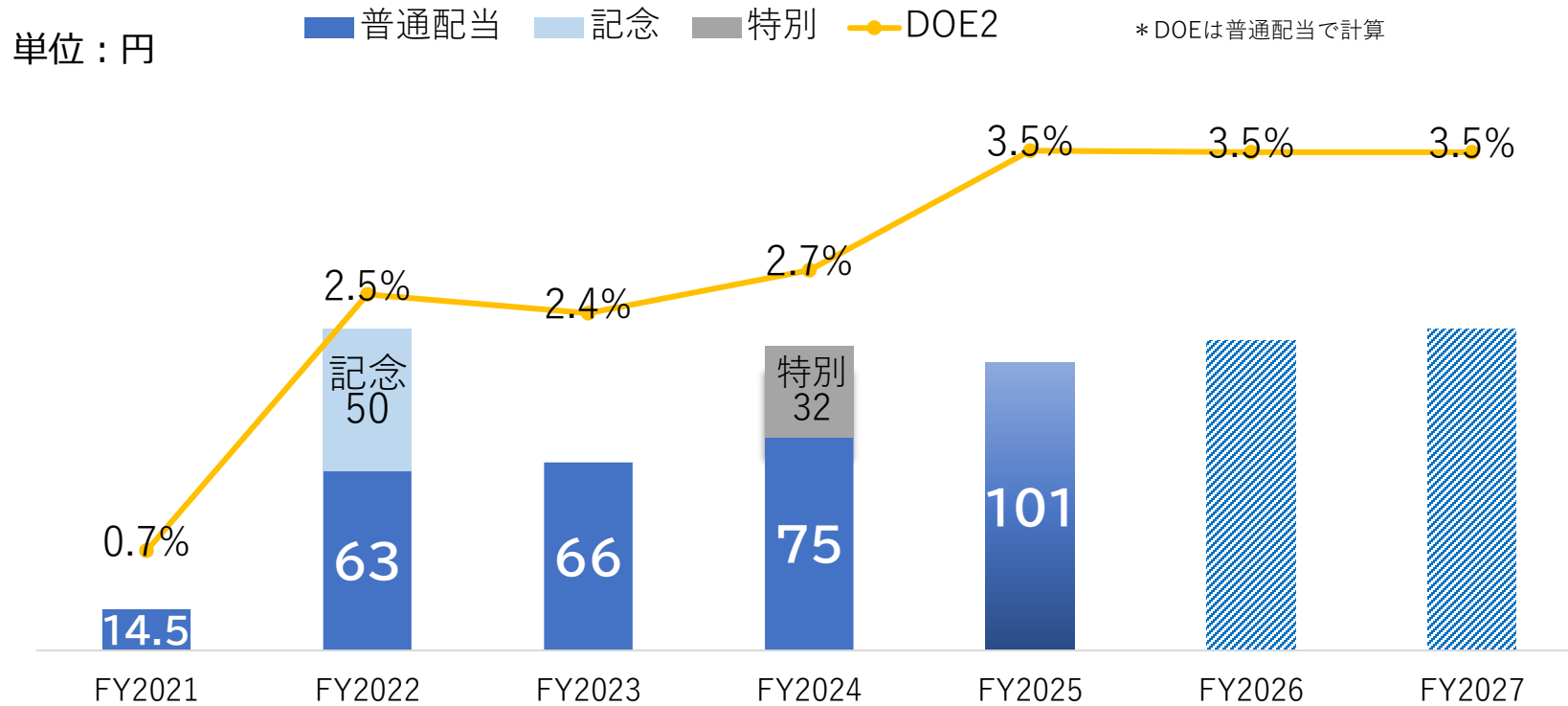
- 中計期間におけるキャッシュインを成長投資、設備投資、IT・DX投資、株主還元、人財投資・社会貢献へ戦略的にキャッシュアウト





- 安定的、継続的な累進配当実現のため配当性向⇒DOE基準へ変更
- DOE3.5%達成時期の前倒し：次期中計期間（2027-29年）⇒2025年
- 利益水準や財務状況に応じ特別配当など機動的な株主還元を実施

DOE3.5%（期首株主資本×3.5%） 配当予想**101円**（1株当たり）





- より多くの投資家により長い期間支援頂く事を目的に優待内容を変更

〔変更内容〕

- ① 保有株式数による区分追加：200株以上を新設し3区分とする
- ② 優待内容の変更：実用的で汎用性の高いQUOカードとする
- ③ 長期間の保有に対する優遇：3年以上継続保有で優待内容（金額）が増加

割当基準株式数	保有期間 3年未満	保有期間 継続3年以上
100株以上	500円分	1,000円分
200株以上	1,000円分	3,000円分
500株以上	5,000円分	10,000円分





■ 近畿大学体育会バスケットボール部

ユニフォーム
スポンサー

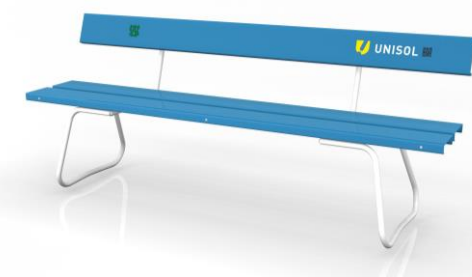
➤ 2025年5月1日からスポンサー契約



■ 西南学院大学サッカー部

ロゴベンチ

➤ UNISOLロゴを掲載したベンチを提供



■ 北九州市立大学硬式野球部

チームバッグ

➤ UNISOLロゴを掲載したチームバッグを提供



- 3校合計100万円を超える大学スポーツ支援を通じて、地域社会発展に貢献
- 当社の社員が学生や保護者、サポーターの皆様と一緒に応援するとともに、学生のキャリアを支援する



4

中期経営計画「UNISOL」 (2022-2026)



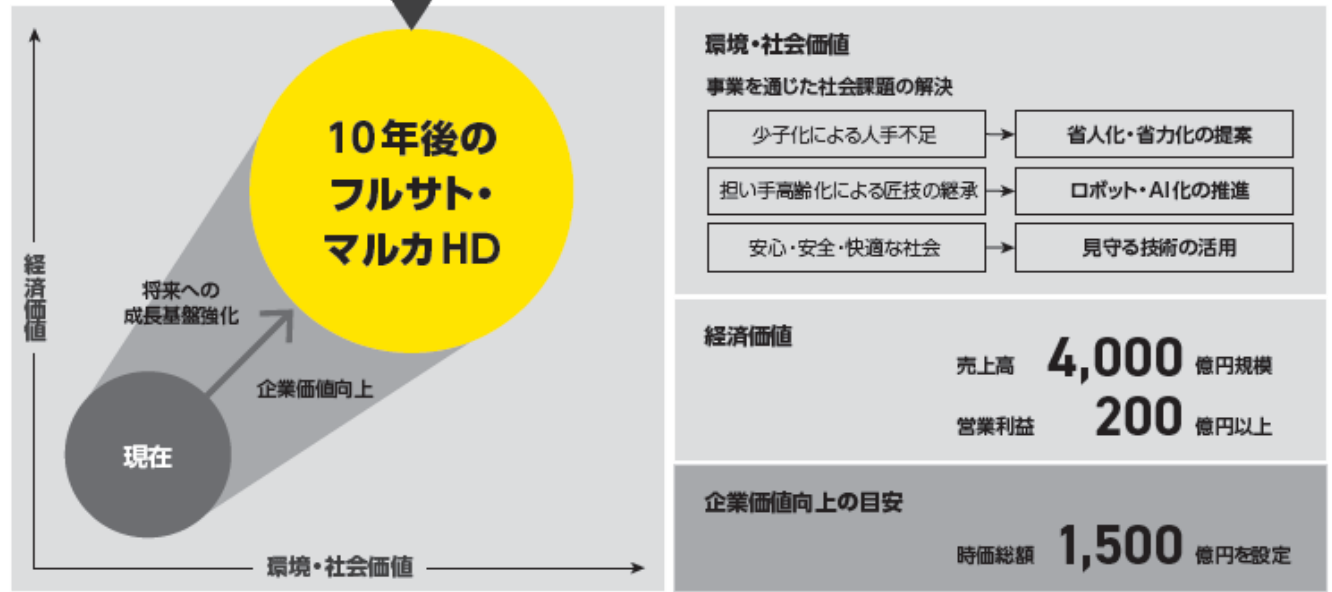
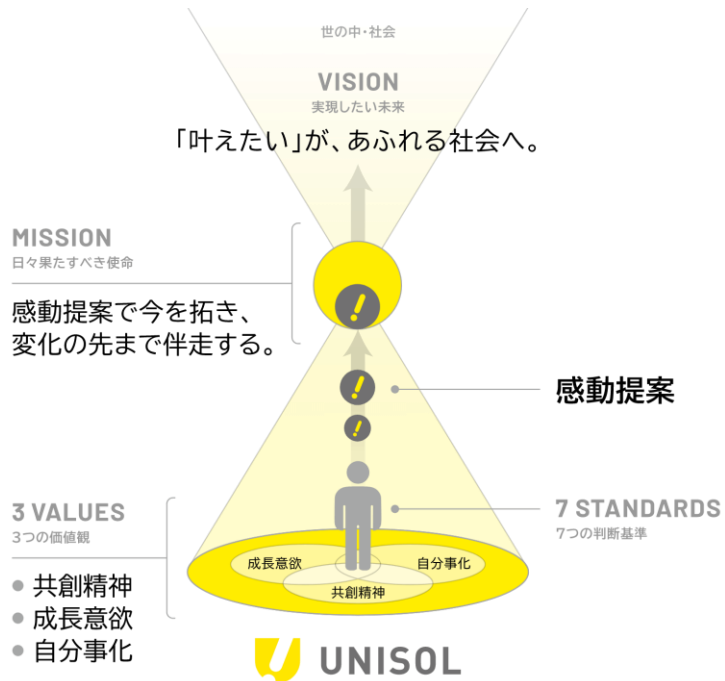
一番に選ばれる「ソリューション・パートナー」を目指します。

- グループ理念のMISSIONに基づき、「10年後のありたい姿」を定義し、実現に向けて事業活動を推進
- 一番に選ばれる「ソリューション・パートナー」となるために、社会やお客様の課題解決のために必要な、アイデアやアプローチを追求し続ける

MISSION 日々果たすべき使命 | 感動提案で今を拓き、変化の先まで伴走する。

10年後のありたい姿 | ユニークなアイデアで現場が抱えるさまざまな課題に自ら向き合い、一番に選ばれる「ソリューション・パートナー」を目指します。

UNISOL理念体系図

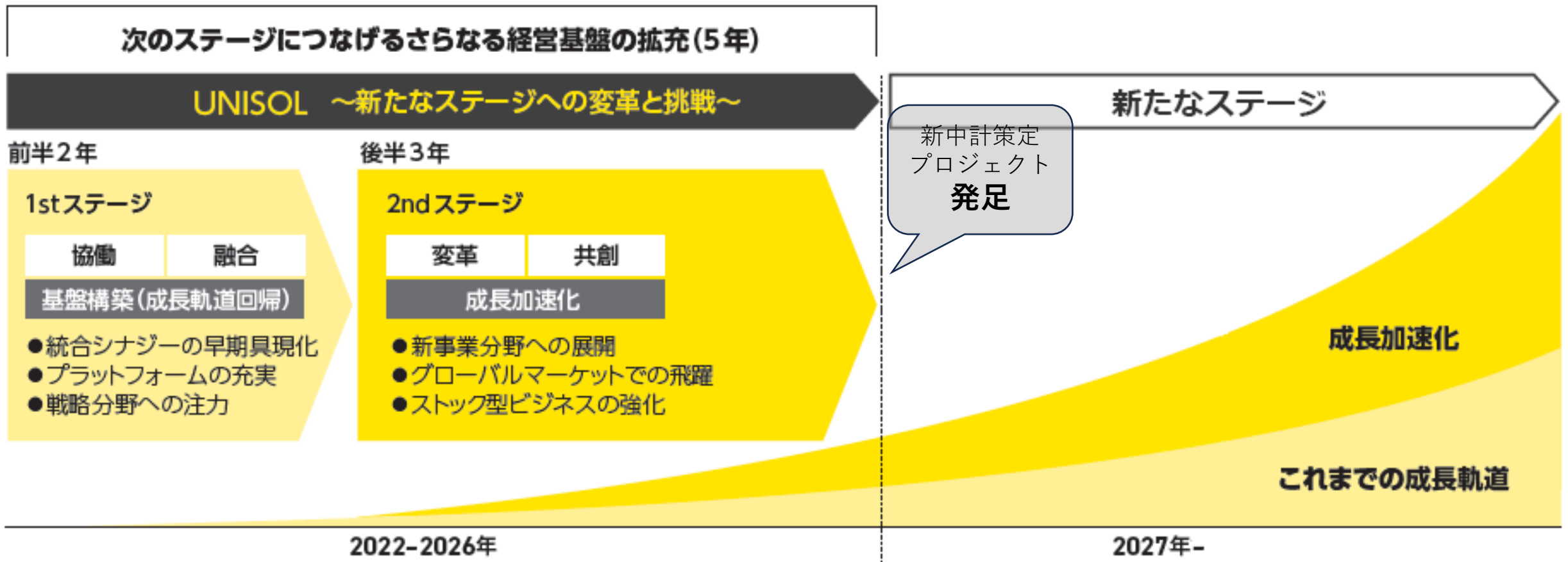


経済価値の向上 × 環境・社会価値の向上 ⇒ 企業価値の向上



「10年後のありたい姿」の実現に向けて段階的に取り組みを推進

- 現在進行している中期経営計画「UNISOL」（2022-2026年）では、「さらなる経営基盤の拡充」をテーマとし、基盤構築（成長軌道回帰）、成長加速化を掲げ推進中
- 2027年からの新たなステージに向けて、新中期経営の策定プロジェクトを発足させ準備を進めている



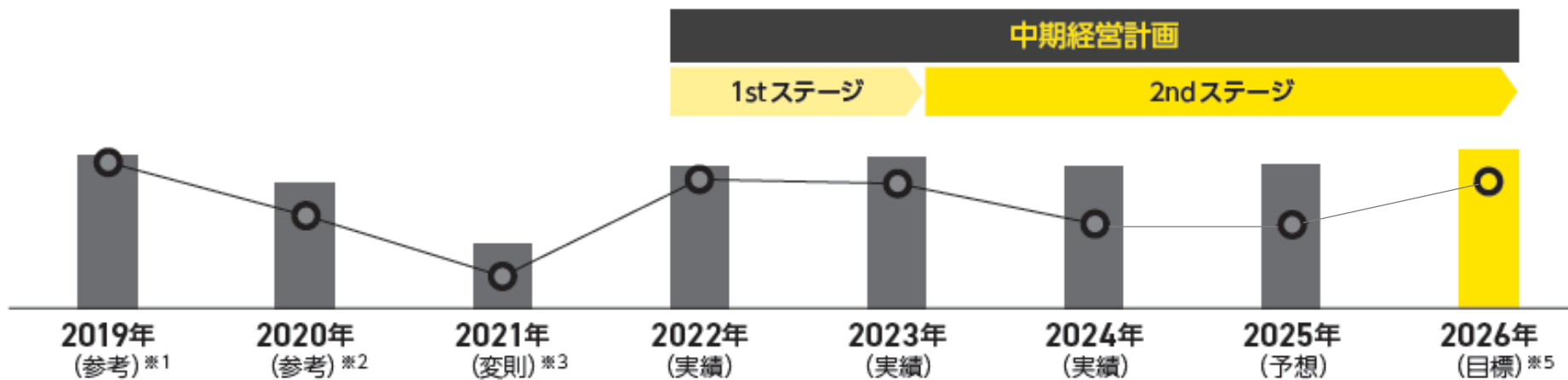


新たなステージに向け成長加速化のための準備期間

- 成長加速化に向け統合シナジー創出に向けた取り組みを進めてきたものの成果は不十分、市況の悪化もあり計画見直しを余儀なくされる
- 最終年度の達成および新たに始まる次期中期経営計画ステージでの成長に向けて事業再編をはじめとする取り組みを展開中

グループ実績

- 売上高(百万円)
- 営業利益(百万円)



売上高	(百万円)	173,817	142,695	74,292	162,416	172,980	161,716	162,000	180,000
営業利益	(百万円)	6,674	4,237	1,465	5,895	5,705	3,860	3,500	5,800
(営業利益率)	(%)	3.8	3.0	2.0	3.6	3.3	2.4	2.2	3.2
ROE ^{※4}	(%)	8.7	4.3	—	6.6	6.6	6.4	3.5	5.7

※1 2019年は統合前であるため、フルサト工業(株)2020年3月期および(株)マルカ2019年11月期の各種財務データを単純合算して算定した参考値です。

※2 2020年は統合前であるため、フルサト工業(株)2021年3月期および(株)マルカ2020年11月期の各種財務データを単純合算して算定した参考値です。

※3 当社は2021年10月に経営統合を実施したことから、2021年12月期の実績は、フルサト工業(株)の2021年4-12月(9カ月)の連結経営成績と(株)マルカの2021年12月(1カ月)の連結経営成績を連結したものです。

※4 ※3の理由により、2021年12月期のROEは実態と乖離した算定結果となるため、非表示としています。

※5 2026年12月期目標については当初開示目標から修正しています。詳しくは、2025年2月14日に開示した「中期経営計画の最終年度数値目標修正に関するお知らせ」をご覧ください。



中期経営計画『UNISOL』重点施策 進捗状況

『経営基盤』の確立
持続的成長を支える

基本戦略

【深掘】
既存事業領域での差別化

重点施策

統合シナジー
【協働4本柱】短期
【戦略5分野】中長期

プラットフォーム戦略の深化

【挑戦】
新たな事業領域への展開

グループ機能融合による
新ソリューションの創出

スマートファクトリー
スマートファームへの取組

【サステナビリティ】
SDGsへの取組強化

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

12 つくる責任
つかう責任

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 働きがいも
経済成長も

進捗状況

シナジー成果
5.6億円 (2024年)



最終2026年 **14億円**

成長投資 約 **28億円**

- ・ TSP買収
- ・ EUREKA出資
- ・ ARUM出資

人財投資・社会貢献 **7億円**

- ・ 持株会RS、信託型ESOP
- ・ 人事制度改革
- ・ 産官学共同研究
- ・ 環境教育
- ・ 里山保全プロジェクト

取組み「シナジー極大化」

- グループ組織再編

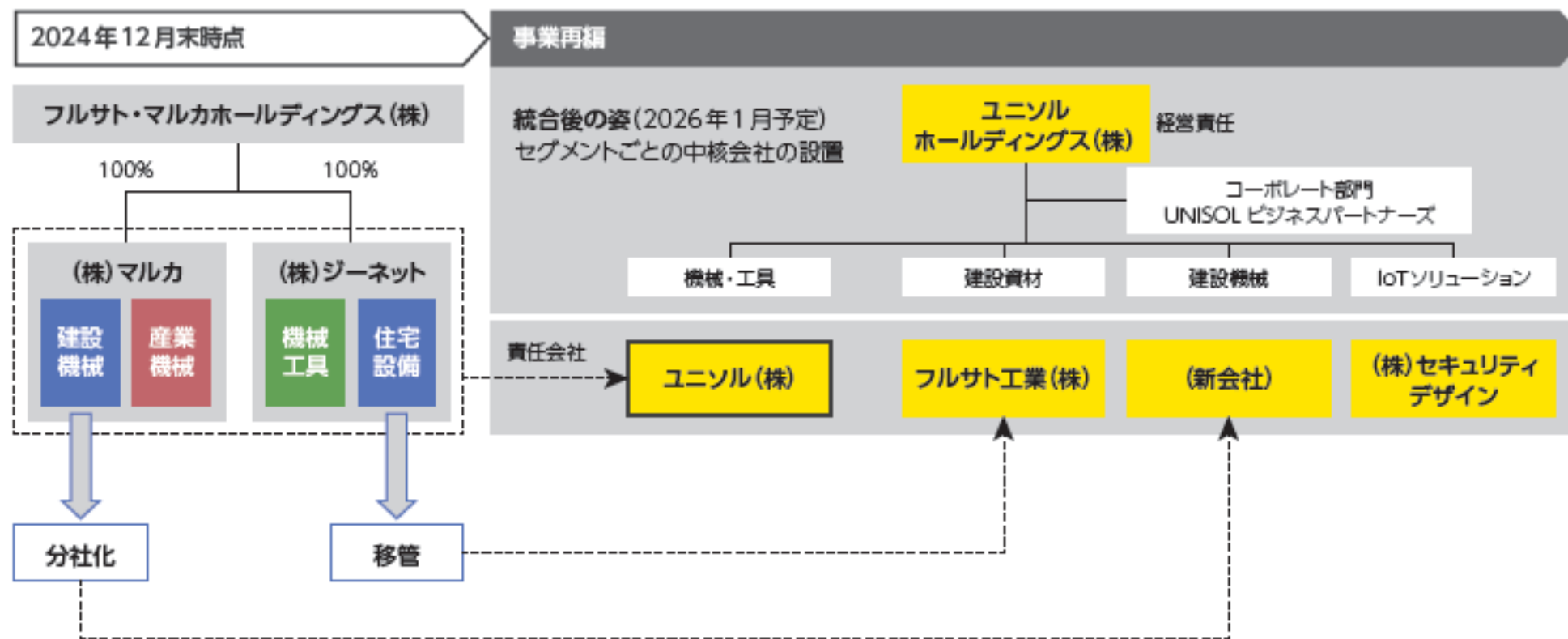
取組み「新事業領域展開」

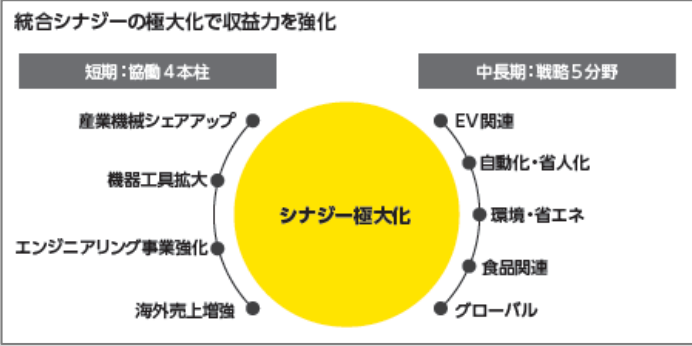
- 超大型無人搬送車 (AGV)
- MEDA ウッドブレース
- エアウォッシャーカメラ

事業再編によりシナジー極大化、ソリューション創出による価値創造を加速化

- ユニソル(株) (2026年1月設立予定) : (株)マルカと(株)ジーネットの経営統合による機械・工具セグメントの責任会社
- UNISOLビジネスパートナーズ(株) (2025年1月設立) : コーポレート業務における効率化と品質向上による専門性の向上
- 住宅設備事業 (2025年7月移管) : 建設資材セグメントに属する同事業を同セグメントの責任会社フルサト工業(株)へ移管
- 建設機械新会社 (2026年1月設立予定) : (株)マルカの建設機械事業は分社化し建設機械セグメントの責任会社として設立予定

事業再編のイメージ





統合シナジーの極大化のため→機械・工具セグメントをテコ入れ！

問題点

- 中核をなす会社が2社
 (株)マルカ (産業機械直需、子会社18社)
 (株)ジーネット (機械・工具類卸売)



- 指揮命令系統が複雑化
- 業務非効率
- リソース活用不十分

★ユニソル(株)の設立により具現化する成長戦略★

①指揮・命令の強化

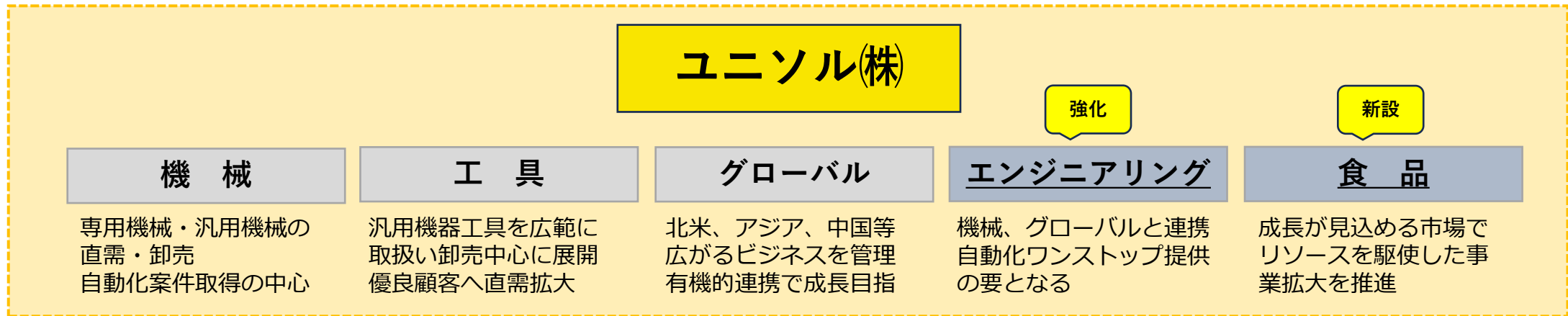
- 指揮系統の単純化
 →各社個別事情が消滅
 →責任・権限ラインが一本化
- 部門間連携・協業加速
 →部門横断的機能による新シナジー発掘
 →販売とエンジ融合による高度提案実現
- 計画・目標の統一化
 →個社毎目標撤廃による単純化
 →集中度、注力度向上による達成確度UP

②販売力の強化

- エンドユーザー情報の有効活用
 →直需ならではの情報収集力を共有
 →顧客目線による確度の高い提案実現
- 直需・卸体制の連携強化
 →直需・卸の共存による新モデル構築
 →直需親和性の高い商材の積極投入
- 販売品目の拡大によるシェア向上
 →商品ラインアップ大幅拡充
 →直需優良顧客への機工商材拡販

③仕入力の強化

- 内部間売上 (含マージン) が不要
 →価格競争力強化
 →仕入先との交渉の効率化
- 代理店権の統合
 →各社の代理店権をユニソルが保有
 →代理店メリットを共有
- スケールメリット有効活用
 →仕入れ量の拡大による交渉力強化
 →優良仕入先への (互惠) 販売拡大



■ エンジニアリング事業本部

製造現場の自動化・省力化推進のための重要な機能として
専用機の開発・製造、製造ラインの設計・設置などを手掛ける

・中期経営計画の基本戦略における
短期戦略のひとつに位置づけていたものの、
社内のリソース不足により対応可能案件が限られ、
計画に対して遅れを取っている



・25年4月に大橋勇志氏を招へい
・現場目線での実践的な支援が可能
・グループが持つ幅広いネットワークと融合させ
技術的に踏み込んだ高品質なエンジニアリング
サービスを30人体制で提供していく



常務執行役員
エンジニアリング事業統括
大橋 勇志

- ・青山学院大学 理工学部卒
- ・トヨタ自動車(株)
- ・(株)JPC 取締役社長
- ・2025年4月 当社入社
- ・2025年7月より現職

■ 食品事業本部

コンビニエンスストア等食品加工業界向けに生産ラインや
後工程(包装・搬送・検査)の自動化ソリューションを提案

・中期経営計画においては、「食品関連」を
中長期戦略分野のひとつに位置づけ
食品機械販売を中心に展開するものの
目立った成果は残せず



・25年1月に独立部署として食品事業本部を新設

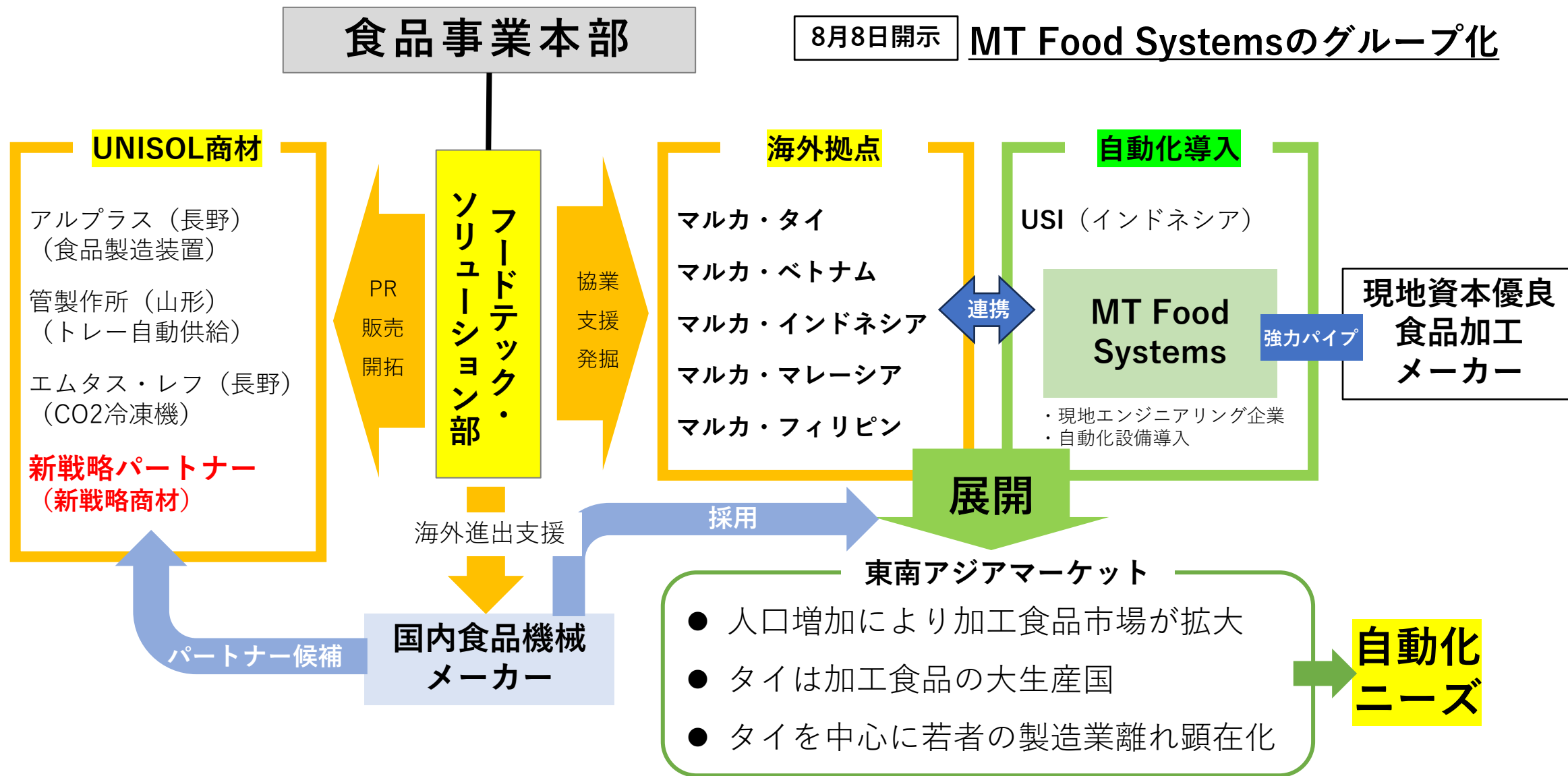


執行役員食品事業統括
藤本 泰広

- ・京都大学 農学部卒
- ・三菱UFJ銀行
- ・2021年4月 当社入社
- ・経営企画部長兼広報部長
- ・2025年1月より現職

新たな戦略の下、成長を加速(次頁)

8月8日開示 MT Food Systemsのグループ化



機械・工具

■ 超大型無人搬送車 (AGV)

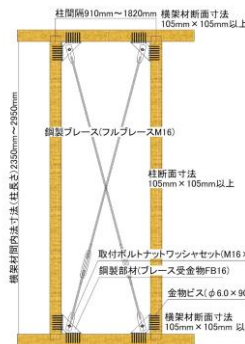
- **超大型AGV**を得意とする中国メーカー「Hunan CIZON Robotics Co., Ltd.」と**日本総代理契約**を締結し今年3月に初納入
<https://www.smri.asia/jp/maruka/products/4723>
- 大型・重物の輸送や組立ラインでの**部品供給に最適な無人搬送システム**で、物流・製造・重作業といった分野を中心に**業務効率化・コスト削減を実現。作業員の高齢化や人手不足に貢献**
- 10 t を超える重量物を積載可能なAGVの取扱いは**国内初**
- 今後の**東南アジアへの展開**を見据え
 - ・タイ：総代理店権
 - ・インドネシア：代理店権を取得



建設資材

■ MEDA ウッドブレース

- **業界トップシェア**を誇る自社製品で、JIS規格品としての信頼もある**耐震用構造部材「フルブレース」**は、鉄骨建築分野向けであるが、**脱炭素社会の実現のためにニーズが高まる木造建築分野向け**に開発
<https://www.fab-navi.jp/lp/woodbrace>
- 他社製品に比べ**耐力性**が高いだけでなく、**デザイン性**と**施工性**に優れる
- 新築戸建住宅、リフォームでの採用拡大や、**中大規模建築物の木造化への貢献**を目指す
- **大阪・関西万博2025のパビリオン**に採用



IoTソリューション

■ エアウォッシャーカメラ

- **製造現場の「見える化DX」**として、(株)東海理化と共同開発し、2025年3月より販売開始
<https://www.security-d.com/airwashercamera/>
- クーラントなどの水滴を空気力で吹き飛ばし、**常にクリアな映像を提供** (録画でトラブル時チェックも容易)
- 工作機械の内側に設置することで、**状況監視と稼働管理**を行い、**生産活動の改善**に貢献
- 製造現場とのコネクションが強い複数のグループ会社にて拡販中

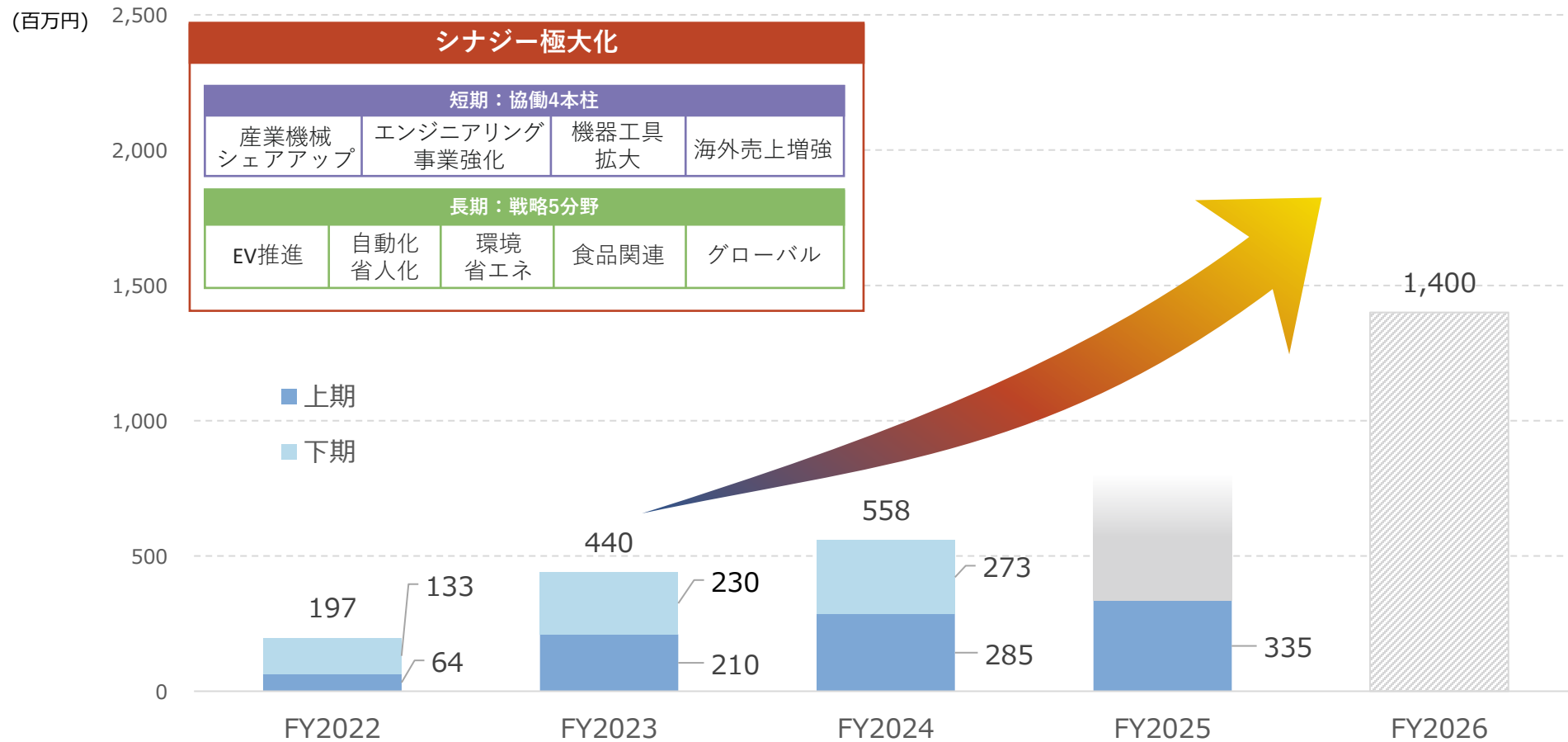


- 10.5インチモニター (オプション)
- 1TB SSD レコーダー
- カメラ
- 制御スイッチ



2025年12月期 中間期（第2四半期）実績：335百万円

- ・産業機械シェアアップ：機器工具の商材拡販を継続：84百万円
- ・自動化、省人化：直販での自動化省力化を推進：79百万円
- ・持続的経費削減：31百万円





5

IR活動



■ イベント&セミナー

お知らせ!



・日経・東証IRフェア2025

9月26日(金)・27日(土)10:00~17:00

アーカイブ配信:10月6日(月)10:00~10月21日(火)17:00

東京ビッグサイト 西3・4ホール (当社ブース: No.100)

<https://ps.nikkei.com/irfair/>

・広田証券主催 IRセミナー&講演会

8月26日(火)16:00~17:15 当社IR担当者による会社説明と

「兜町カタリスト」編集長の櫻井英明氏による株式講演会

<https://www.hirota-sec.co.jp/seminar/1605/>

新設!

■ SNS

・IR公式X

2025年5月に開設

株価情報や当社イベント情報を毎日発信

https://x.com/Unisol_HD_IR



■ インターネット広告

・Yahoo!ファイナンス「株主優待積極企業」

2024年5月に株主優待制度を変更

投資魅力をさらに高め、長期保有に対する優遇制度を導入

<https://finance.yahoo.co.jp/quote/7128.T/incentive>

■ 動画コンテンツ

・当社コーポレートサイト

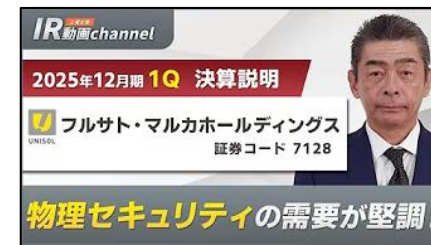
決算説明会動画(半期・通期)

<https://www.unisol-gr.com/ir/library/video/>

・YouTube

公認会計士ひねけんの株式投資チャンネル

上場企業IR動画チャンネル



■ マスメディア広告

・ラジオNIKKEI 時報CM

2025年5月より、平日午後9時の時報CM(20秒)をリニューアル

「マーケットプレス」直前に放送

<https://www.unisol-gr.com/group/advertising/>



■ スポンサーレポート

・Shared Research

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7128#top>

・FISCO

<https://web.fisco.jp/platform/companies/0712800/report>



UNISOL

本資料は、当社をご理解いただくことを目的に作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づいた予測であり、実際の業績は、経営環境の変化や市場の動向等の要因により、これらとは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。
ご利用に当たっては、ご自身の判断と責任においてなされることを前提としており、当社はいかなる場合においても責任を負いません。